



KKR東海病院

# とうかい

国家公務員共済組合連合会 東海病院  
〒464-8512  
名古屋市千種区千代田橋1-1-1  
TEL 052-711-6131(代) FAX 052-712-0052  
http://www.toukaihos.jp/

第57号 2017.7  
編集責任者 丸田真也(副院長)

## 東海病院憲章

東海病院は公共的な保健・医療・福祉サービスを行う施設であり、地域の人々の健康と福祉に資することを目的とする。

## 私たちのKoKoRo(心)構え

3つのS 誠意…Sincerity  
奉仕…Service  
考動…Science

東海病院職員は病院憲章の目的を達成するため、誠意・奉仕・考動の3つのSを大切にし、地域医療機関との緊密な連携に努め、限りない人間愛と責任をもって、地域の人々に保健・医療・福祉サービスを提供します。

## 『地域の病院、地域の病床』

看護部長 松田 日登美 …1

## 第8回市民公開講座より ①

足のむくみについて

血管外科医師 新美 清章…2

## 第8回市民公開講座より ②

認知症の方との関わり方について

介護福祉士 西川 弘哲 …2

## 地域包括ケア病床について

内科統括部長 西村 英哉…3

## 病診連携勉強会より

病診連携システム勉強会

副院長 地域連携室長 丸田 真也…3

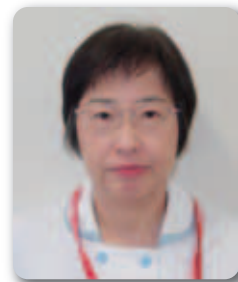
## 敷地内全面禁煙を始めました

衛生委員会委員長 ……3

## 新任医師のご紹介

消化器内科 植月 有希子…4

## 診療と交通のご案内 ……4



東海病院  
看護部長 松田 日登美

日頃は当院診療・看護にご協力頂き、感謝いたします。

今年度は病棟再編成を行い、6月から3階病棟は地域包括ケア病棟46床として運用を開始しました。1・2階病棟での7対1入院基本料算定と併せ、看護師の異動や新規採用が続いており、入院受け入れと看護の質維持に不備がないようにスタッフ共々努めております。

さて、地域包括ケアシステムは「地域の実状に応じて、高齢者が、可能な限り、住み慣れた地域でその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、医療、介護、介護予防、住まい及び自立した日常生活の支援が包括的に確保されている体制」として、作り上げていくことが求められています。医療が変わり、病院と地域がいかに連携を図っていくか、そのために病院の職員・看護師はどのように備えていくかが問われています。

当院も有する地域包括ケア病棟は、地域包括ケアシステムの中において、住み慣れた地域における生活支援の体制を下支えするものです。そして、①高度急性期や急性期からの受け入れ（ポストアキュート）、②在宅や施設で療養している発症前から生活支援が必要な方の緊急受け入れ（サブアキュート）、③発症前には生活支援が不要な方の緊急時受け入れ等（周辺機能）という3つの受け入れ機能と、④在宅復帰のための心身の準備回復等退院支援機能があります。先日開催された地域包括ケア病棟研究大会では、今後は②サブアキュート機能が増え、また評価されるのではないかと議論が出ていました。医療間はもちろん、介護や福祉といかに連携を図っていくかが、今後は求められます。当院の現状は①や④が主で他の医療機関との連携や院内での移動が主ですが、連携医からのご紹介を含めた②サブアキュート機能を担っていく体制をさらに検討する必要があります。

退院後のケア継続や戻られた後の生活を視野に入れた退院支援を進めるなど、地域包括ケア病棟における多職種連携によるケアの質も問われていきます。さらに、超高齢者や認知症の方の入院が当然となる今後に向けて、他施設での取り組みの情報収集も含め、当院での医療・看護のさらなる向上に努めていくことが、「地域の病院、地域の病床」としての役割を果たしていくことだと考えます。

今後とも皆様からのご意見・ご指導により、私たちも成長します。今後ともよろしくお願いたします。

KKRとは?

国家公務員共済組合連合会の  
頭文字をとった略称です。



第8回市民公開講座より ①

# 足のむくみについて

東海病院 血管外科医師 新美 清章

むくみとはさまざまな原因によって細胞と細胞の間に水分（間質液）が過剰に溜まることによって生じる症状です。できやすい場所は膝から下の足前面、まぶた、手指など皮下組織が少ない部分、皮膚をつまんで簡単に持ち上がる部分、指で押して骨が触れる部分などにみられます。指で押すとくぼみができることで確認ができますが、ひどくなると表在静脈がみえにくく、皮膚が硬くなり、つまみあげにくくなります。むくみ（浮腫）には心不全や肝硬変、腎不全などの全身性浮腫と、深部静脈血栓症やリンパ浮腫などの局所性浮腫の2種類に分かれます。急に顔や手がむくんできたり、体重が増えた、息切れや体が疲れるなどの症状がでたときは全身性の浮腫が推測されますので、早めに内科に受診しましょう。片足だけにおくみがあるときは血管外科を受診しましょう。足の血液を心臓に戻す力には2つあり、心臓が静脈血を引き戻す力と、静脈血を上へ押し上げる筋肉の力（筋ポンプ作用）があり、正常な人間でのむくみの主な原因は静脈のうっ滞です。日常生活でのむくみ予防として足を高くあげる、下肢挙上、つま先上げとかかと上げの交互運動などが有用です。また弾性ストッキングも有用ですが、適切な圧力を選び、むくみが出る前に履くことが必要です。ただ、血行障害、心不全の方、足に炎症のある方は医師と相談して下さい。またむくみを起こす薬もあります。右記内服中では担当医に相談をお勧め致します。

**全身性浮腫**



うっ血性心不全

腎不全、慢性腎炎、ネフローズ症候群

肝硬変、低栄養




甲状腺疾患、クッシング症候群、糖尿病

薬剤性浮腫、特発性浮腫

**局所性浮腫**

静脈疾患（静脈瘤、深部静脈血栓症）  
リンパ管の病気、炎症など

**むくみを起こす薬**

薬の種類	具体的な薬剤
降圧薬	血管拡張薬(ヒドラジン、ニトロ系)、カルシウム拮抗薬(ジヒドロピリジン系)、αブロッカー、βブロッカー
ホルモン剤	副腎皮質ホルモン、エストロゲン、プロゲステロン、テストステロン
糖尿病薬	インスリン、ピオグリタゾン
漢方薬	甘草（グリチルリチン）
中枢神経作用薬	抗ドーパミンD2、カルバマゼピン、アミトリプチリン
抗生剤	ペニシリン、セフェム系、ホスホマイシン
抗がん剤	アントラサイクリン系、シスプラチン



第8回市民公開講座より ②

# 認知症の方との関わり方について

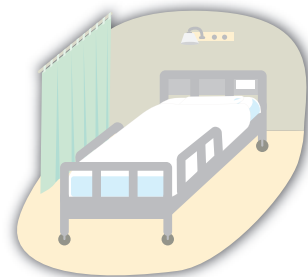
東海病院 介護福祉士 西川 弘哲

現在認知症の方は軽度認知障害（MCI）も含めると800万人以上いると言われており、今後も増加すると予想されています。国の施策として住み慣れた地域でその人らしい生活を継続することを目指していることから認知症の方を家族だけでなく地域で支援していくことが求められています。

認知症の方と関わる時に注意することは「なぜそのようなことをするのか原因を探り（体験世界を理解し）、それを受け入れること」を第一に考え、明るく楽しい気持ちで接することを心がけます。その上で相手の言動を否定しない、自分の表情や言葉の伝え方に注意する、相手のペースに合わせるなどの関わりが必要です。ただそれは私たちが認知症の方以外と関わる時に注意することと同じなので認知症の方だからと特別なことではありません。ただその時その時でご本人の思いも違うので常に正しい関わり方を続けるのはとても難しいです。しかし適切な接し方でないと認知症の方はさらにBPSDが悪化してしまうかもしれません。認知症と本人を正しく理解し接することで認知症の方もその人らしい生活を継続できるでしょう。

# 地域包括ケア病床について

東海病院 内科統括部長 西村 英哉



平成29年5月に当院では病棟の再編を行いました。従来、3階病棟のうちの10床を地域包括ケア病床としていましたが、この再編により、3階病棟全体を地域包括ケア病棟とし、46床に増床しました。

厚生労働省は、「団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築」を目指しています。地域包括ケア病棟は、このシステムの中で、病気の急性期の治療が終わった方や自宅や介護施設等におられ比較的軽度の病気になった方の治療の継続、在宅・生活復帰支援を目的として位置づけられている病棟です。

病気で当院に入院されるうちの多くの方には、まず急性期病棟である1階・2階病棟に入院していただき、治療を受けていただきます。病状が安定したものの、自宅療養に至るにはまだ治療が必要であったり、リハビリなどを行う必要があったりする方には、地域包括病棟への移動をお願いすることがあります。当院では、地域包括ケア病棟創設にあたり3階病棟の病床数を56床から46床に減らし、1床あたりの面積を広げ、入院環境の改善を図りました。患者様には、入院中に病床の移動をお願いすることとなりますが、ご理解のほどをお願いいたします。

病診連携勉強会より

## 病診連携システム勉強会

副院長 地域連携室長 丸田 真也



去る6月17日(土)の午後、空梅雨の猛暑の中、当院健康管理センターの3階で病診連携システム勉強会を開催いたしました。今回は、当院の3名の医師による症例提示などの発表がありました。最初は、整形外科新海医師からの「Dupuytren拘縮について 最新の知見」でした。手術後のリハビリが重要であり、その他に局所注射による治療もあるとのことでした。次に、外科大森医師から「S状結腸膀胱瘻の1例」の症例報告がありました。大腸憩室炎の穿通例で、憩室性大腸炎を合併した珍しい症例でした。最後に消化器内科北村部長より「NSAIDs起因性腸炎の4例」の発表がありました。薬剤性腸炎を念頭においた問診が重要とのことでした。当日は、19名の病診連携登録医の先生方にご参加頂き、東海病院職員31名と合わせて会場はほぼ満席の盛況となりました。

次回は10月28日(土)に名城病院と共催の病診連携症例検討会と懇親会を予定しております。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。



## 敷地内全面禁煙を始めました

衛生委員会委員長



オリンピック開催に向けたICOとWHOによる取り組みに関連して、公共施設での禁煙が強く求められております。

当院は永らく敷地内分煙を行っており、病院として喫煙場所の設置については、以前より患者様からご意見も頂いていました。職員等の喫煙状況アンケート調査を実施し、職員の禁煙を先んじて実施し、本年6月1日から敷地内全面禁煙を開始いたしました。東海病院・老健ちよだ・健康管理センターに加え、東海病院グラウンドならびにテニスコート及び駐車場も、当院敷地です。敷地内禁煙はこれらすべてとなりますので、ご協力お願いいたします。

なお、禁煙外来も近日中に木曜午後に予約制で開始いたします。ご利用ください。



# 新任医師のご紹介

東海病院 消化器内科 植月 有希子

平成29年7月1日より東海病院消化器内科医師として赴任いたしました、植月有希子と申します。

平成22年に愛知医科大学を卒業しました。その後は、JA愛知厚生連江南厚生病院にて初期研修を行い、その後同病院で消化器内科として働いた後、平成27年4月以降は渥美病院で勤務しておりました。両病院では、消化器領域をはじめ、内科疾患全般を学ばせていただきました。

東海病院でも、これまで学んだことを生かしつつ、地域の皆様のお力になれるよう精一杯務めさせていただきますので、宜しくお願いいたします。

## 診療と交通のご案内

### 診療科

#### 内科

消化器	月～土	} 受付 8時30分～11時30分
循環器	月～土	
呼吸器	月・水	
肝臓	月	
糖尿病	金	
血液	火	} 受付 13時00分～14時00分

#### 外科

消化器	月～土	} 受付 8時30分～11時30分
ヘルニア外来	第1・3・5土	
血管	金	} 受付 8時30分～11時00分
整形外科	月～土	受付 8時30分～11時00分
泌尿器科	月～土	受付 8時30分～11時30分
眼科	月～金	受付 8時30分～11時30分
脳神経外科	火・木	受付 8時30分～11時30分
皮膚科	木	受付 13時00分～14時00分

土曜日は、第1・3・5のみ診療を行っております。

土曜日の診療は、当番医となります。

※平成29年4月1日より標榜科が変更となりました。

休診日 第2・4土曜日

日曜日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)

所在地 〒464-8512 名古屋市千種区千代田橋1-1-1

電話 TEL 052-711-6131 FAX 052-712-0052

アドレス <http://www.toukaihosp.jp/>

交通 地下鉄・名城線茶屋ヶ坂駅②番出口より約7分

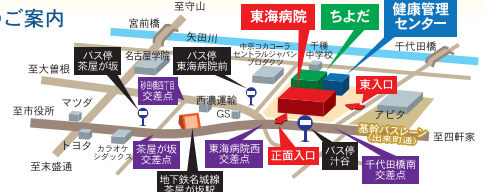
バス・基幹バス汁谷下車約1分

名鉄瀬戸線・・・大曾根駅下車 地下鉄名城線乗換 茶屋ヶ坂駅下車

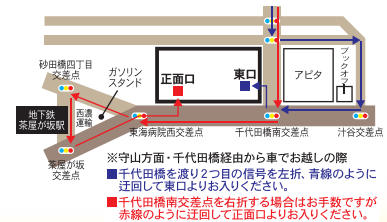
ゆとりーとライン・・・砂田橋駅下車 地下鉄名城線乗換 茶屋ヶ坂駅下車

※一部送迎バスあり

### 周辺のご案内



### 駐車場入口のご案内



※守山方面・千代田橋経由から車でお越しの際  
■千代田橋を渡り2つ目の信号を左折、青線のように迂回して東口よりお入りください。  
■千代田橋南交差点を右折する場合はお手数ですが赤線のように迂回して正面口よりお入りください。

### 公共交通機関のご案内

